

A 建設業のいま、 そしてこれから

コース

10/5
Thursday

10/6
Friday

こちらも
チェック!

監理技術者講習

ならびに

登録解体工事講習

<http://www.jctc.jp/>

ホームページからでも申し込みできます



※QRコードからのアクセスは一部できない場合があります。

B 橋梁の補修・補強における 設計・施工上のポイント

コース

サテライト講習とは

東京で行われる経験豊富な講師陣による講習を名古屋・大阪のサテライト会場でインターネット回線を利用し、リアルタイムに受講できます。なお、各会場から講師との質疑応答もできます。

対象者

土木、建築技術者
及び
建設業に携わる方

講習のポイント

- 1 事前に講習内容に対する質問を受け、講義内容に反映します。また、講義終了後、期間内であれば講義内容の質問をメールでお受けします。
- 2 業務上必要となる基礎的な知識や技術のポイントを、1コース1日単位で、短期間で気軽に受講できます。
- 3 遠方の方や長期講習に参加するのが難しい方でも、お近くの会場で受講でき、経費や時間を節約することができます。
- 4 各コースとも下記団体のCPD登録講習です。(予定)
(一社)全国土木施工管理技士会連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、
(一社)全国測量設計業協会連合会

※講習の趣旨等の詳細については、当センターホームページごらんください。URLは裏面に記載しております。



東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル(青山ツインビル)西館15階
半蔵門線、銀座線、都営地下鉄大江戸線「青山一丁目」駅 直結



愛知県名古屋市中村区名駅3-13-5 名古屋ダイヤビル3号館
JR「名古屋駅」、桜通口より徒歩5分



大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル12階
JR「大阪」駅より、地下街を通じて直結

主催

一般財団法人 **全国建設研修センター**
Japan Construction Training Center

後援

- (一社)全国建設業協会
- (一社)全国土木施工管理技士会連合会
- (一社)建設コンサルタンツ協会
- (一社)全国測量設計業協会連合会

最近、様々なメディアで「インフラ長寿命化」、「生産性向上」、「担い手 3 法」、「働き方改革」、「i-Construction」、「社会保険未加入対策」などの言葉をよく目にします。実際に、それらにかかわる多くの施策が動き出しています。その一方で、動きが速く、「なかなか全体像が見えにくい」、「何がどう変わるのか、どこがポイントなのか、どうしたらよいのかよく分からない」などの声も耳にします。そこで、それらをまとめて、今後の展望から実務上のポイントまで、現場の第一線で活躍する講師陣がズバリ解説します。

<p>9:10~9:20 講習についての説明</p> <p>1 時限目 9:20~11:30 (130分 内休憩10分含む)</p>	<h2>建設産業政策会議のとりまとめについて</h2> <p>今年7月に取りまとめられた建設産業政策会議の提言をご紹介します。現在の建設業界の抱える問題と国土交通省の施策、そしてその最新の動向をわかりやすく解説します。建設業のいま、そして明日(あす)を考えていただく機会となれば幸いです。</p>	<p>【講師】 菅原 晋也 国土交通省 土地・建設産業局 建設業課 建設業政策企画官</p>
<p>11:30~12:30 昼食休憩</p> <p>2 時限目 12:30~14:40 (130分 内休憩10分含む)</p>	<h2>建設業の労務はいま</h2> <p>「社会保険未加入対策」、「働き方改革」、「一人親方問題」から、「週休二日制の導入」、「超過勤務手当の支払い」まで、建設業の労務をめぐる最新の動きと頭に入れておくべき実務上のポイントについて、第一線で活躍する講師がわかりやすく解説します。</p>	<p>【講師】 桑原 敬 日本橋中央労務管理事務所 取締役 社会保険労務士</p>
<p>14:40~14:50 休憩</p> <p>3 時限目 14:50~17:00 (130分 内休憩10分含む)</p>	<h2>i-Constructionによる生産性「革命」の勘所</h2> <p>従来の新技術・新工法の個別導入にとどまらない、情報共有による新しい生産の形が生まれつつあります。日々の工夫から始まる身の丈にあった生産の革新について、事例を交えて分かりやすく解説します。</p>	<p>【講師】 杉浦 伸哉 株式会社 大林組 土木本部 本部長室 情報技術推進課長</p>

現在、多くの橋梁で点検が進められています。今後、より適切な保全・補修・補強の実施の要請が高まると予想されます。また、災害時の橋梁の復旧は、特に迅速な実施が求められることから、一般のものとは異なる配慮も必要です。これらの非常に緊急性の高い内容について、設計時の配慮や施工上の留意点を、第一線で活躍する講師がわかりやすく解説します。実戦的な講習です。

<p>9:10~9:20 講習についての説明</p> <p>1 時限目 9:20~10:50 (90分)</p>	<h2>鋼橋の補修・補強における施工時の留意点</h2> <p>施工事例の紹介を中心に、現場の実態を踏まえた補修・補強工事における施工上の留意点を解説します。設計・計画時にも必要な内容です。</p>	<p>【講師】 福島 道人 一般社団法人 日本橋梁建設協会 保全委員会保全第一部会 JFEエンジニアリング株式会社 橋梁事業部 改築プロジェクト部 技術室 部長代理</p>
<p>10:50~11:00 休憩</p> <p>2 時限目 11:00~12:30 (90分)</p>	<h2>震災時における補修・補強事例 ~応急復旧から本復旧まで~</h2> <p>震災後の復旧活動には、道路交通の早期の確保が必要です。わが国は、多くの地震に見舞われ、大きな被害を経験し、社会基盤の復旧を行ってきました。これらの経験を次に生かすため、鋼橋における震災直後の応急対策から本復旧までの補修や補強事例について解説します。</p>	<p>【講師】 松下 裕明 一般社団法人 日本橋梁建設協会 保全委員会保全第一部会 日立造船株式会社 社会インフラ事業本部 鉄構・防災ビジネスユニット 橋梁設計部 部長</p>
<p>12:30~13:30 昼食休憩</p> <p>3 時限目 13:30~15:00 (90分)</p>	<h2>PC橋の維持・保全の基本</h2> <p>PC技術特有の劣化事例について紹介し、維持保全の必要性と、予防保全を目指した維持保全計画の流れについて解説します。</p>	<p>【講師】 深川 直利 一般社団法人 プレストレスト・コンクリート 建設業協会 保全補修部会 株式会社 ビーエス三菱 技術本部メンテ ナンス技術グループ グループリーダー</p>
<p>15:00~15:10 休憩</p> <p>4 時限目 15:10~16:40 (90分)</p>	<h2>PC橋の診断から補修・補強</h2> <p>PC橋特有の点検ポイントとその評価方法および補修・補強方法について、事例を基に解説します。</p>	<p>【講師】 深川 直利 一般社団法人 プレストレスト・コンクリート 建設業協会 保全補修部会 株式会社 ビーエス三菱 技術本部メンテ ナンス技術グループ グループリーダー</p>

※各コース共、受講後に『講習修了証』をお渡します。 ※講習科目及び講師は変更する場合がありますので、ご了承ください。

講習申込 右記の当センターホームページからサテライト講習を選択の上、ページ内の「申込みの流れ」をご確認いただきお申込みください。

<http://www.jctc.jp/> **全国建設研修センター**

募集人数 **受講費用** ※受講費用にはテキスト代・消費税が含まれています。 ※各会場定員になり次第締切りとさせていただきます。 ※お申込み辞退は極力、ご遠慮ください。

申込期間 平成29年 8月21日(月)~9月22日(金)
※申込期間を過ぎてお申込みを希望される方は、電話でお問合わせください。

各コース毎
メイン会場 東京(渋谷) 100名 15,000円/人
サテライト会場 名古屋・大阪 各100名 12,000円/人